

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和 4 年 12 月 11 日(日)午後 2 時～3 時 30 分  
場 所 富士見台町内会（富士見台会館）  
参加者 19 人



### 主な意見等

参加者 子ども会からの要望です。現在医療費の補助が中学生まで出ていますが、ぜひ高校生までも対象にしてほしいです。

市 長 今後の課題として承ります。医療費の無料化を始めた頃は、本来の制度に市独自のものを加えたために、国からかなりペナルティがありました。医療制度改革という意味では個々の市町村で考えることではなく、国家的な問題かと思いますが、県北では人口流入策として制度を手厚くしている自治体もあります。

皆さんに納めていただいた税金を使うにあたり、優先順位をつけて、できるだけ恒久的に進めていく必要があります。例えば学校のエアコン設置は、光熱費など運用コストもかかります。今後は高齢者の介護サービスなどの費用はさらに増える予想ですが、子どもたちが将来支える側になったときの負担を軽減する制度設計も必要だと考えています。

参加者 小学生の子がいて、一昨年、学校からパソコンが配布されました。オンライン授業で、チャットを先生に送るという宿題が出ましたが、翌朝、子どもが送った覚えがないチャットが深夜に送られていました。先生にはその件を伝えましたが、暗証番号が全員一緒に違うのはIDだ

けです。悪意があったわけではないと思うのですが、GIGA スクールを進めていくに当たって、一番初めに教えるべきはセキュリティだと思います。情報に関する犯罪も増えている中、使い始めの時期にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

市 長 ご指摘のとおり電子媒体を使った取組を進めていくに当たり、個人情報やセキュリティの対策を一番に進めていかなければならないと考えます。改めて教育委員会とも話し合っただ対応していきたいと思ひます。

参加者 少子高齢化は今後も進んでいくと思ひます。高齢者に優しいまちを目指すんですか。子どもは未来の宝だから子どもを優先した事業を進めるんですか。どちらに重きを置くんですか。

市 長 私は、就任以来子ども優先の政策を掲げてきて、主役である子どもたちと、その親御さんが子育てしやすい環境をつくっていくことを柱としてきました。おかげさまで就任してから人口が1万人以上増え、税収も増えています。ただし、子ども優先の政策を進めていくと、費用がかかるのも事実です。財政的な好循環を一定程度作り出せてきたので、高齢者に対する政策にも力を入れることができているという認識でいます。

参加者 子ども優先ということですが、子育てしている家庭は共働きが多いと思ひますが、平日、市役所に行くことはできません。休日にやっている業務をアナウンスしてください。質問や意見があっても平日、時間がとれないと伝えることができません。改革する予定はありますか。

市 長 アナウンスということでしたので、ご存知かもしれませんが、毎月最終日曜日は市役所本庁舎と大井総合支所で休日開庁してひいて、上福岡駅西口の出張所は毎週日曜日開庁してひいています。市報とホームページではご案内してひいますが、もっと広く若い世代の方に知っていただく手立ては考えていく必要があるかと思ひます。また、年度変わりなど異動の多い時期は休日開庁を増やして対応してひいます。

参加者 ふじみ野市は市民活動が活発だと感じます。息子夫婦が川越市に住ん

でいて、孫がよく遊びに来るのですが、0歳児から就学前までの子ども向けのイベントが川越市より多く、私もよく参加します。町内会や市民団体のイベントも非常に多くていい印象を持っています。ただし、川越市に住んでいるのでふじみ野市の保育所に入りたいと希望しても空きがなくて入れないと聞いています。

市長 市民活動ということでは、ボランティアの方々が本当に一生懸命活動されていると感じています。

保育園についてですが、これまで国の補助のある民間の保育園にシフトしながら増設してきました。平成24年頃、いったん待機児童は0になりましたが、まだ需要があり、その後も民間保育園を増やしてきました。0・1歳はなかなか入れませんが、4・5歳は定員割れしている所もあります。保育の制度は、共働きの家庭のために国がつくってきた制度ですが、保育所を際限なく増やしていくことはできません。1人のお子さんをお預かりするのに公立の保育所だと年間で130万円くらいかかりますが、民間の保育所だと国の補助があるので市の支出は40万円くらいになります。国の補助だったとしても税金であることには変わりありません。基準上の待機児童は一桁ですが、それでも保育園に入れず何とかしてほしいという声があります。市としても子どもたちを育てる若い世代を最大限支援していきたいと思っています。

参加者 1年くらい前に上福岡図書館入口の信号が歩車分離に変わりました。右折のために車が7~8台並ぶことがあります。通学時間帯は小中学生が道の端に並んで待っています。酒屋さんの所で事故がけっこうあります。坂の下に信号があるのですれ違いができるところが限られます。通学路ということもあり、直してほしいです。

市長 スクールゾーンになっている場所もありますが、歩車分離になったことで道路の流れが変わった部分もあるかもしれません。福岡中央公園の方から進んできたときに交差点の信号の手前から右折のウインカーを出してしまう場合が多いのですが、大むらそば屋さんの方、あるいは斜め方向に行く場合、道路交通法からすると、本来は交差点の先で出さないといけないので、志まだ菓子屋さんの方に右折すると勘違いした対向車と接触事故を起こしてしまう可能性があります。気を付け

ないといけない交差点だと認識していますので、改善策を検討していきたいと思います。

参加者 その通学路を子どもが使っています。通勤で急ぐ人が多いこともあり、気を付けて見えています。時間帯により一方通行にするとか、通学時間帯だけでも事故対策できないのでしょうか。

市長 一方通行にすると、逆に交通量が極端に増えたり、すれ違いがないことでスピードが出てかえって危険になることもあります。警察との交通協議の機会もありますので、ご意見を参考にしながら安全対策を考えていきたいと思います。

参加者 現状、自治組織が衰退している中、市としてどのような支援を考えているのか、支援策があれば教えてください。

市長 自治組織の活動が低下している要因として、自治組織離れ、若い世代が加入していないということが挙げられます。子育てが忙しかったり、共働きであったりといった事情もあるかもしれませんが、価値観の違いなどから加入しない世帯も多いようです。しかし加入して見返りを求めるということではなく、平時から顔の見える関係を構築していく必要があると考えています。子どもたちの成長過程で、ボランティアなど地域での活動を体験することも大事だと思います。また、災害時の復旧復興の状況を総務省が調べたところ、震災などの大規模災害が発生したとき、自治組織のつながりが強い地域の方が復興が早かったことが分かっています。災害時、集会所の前に公園があったりすると、炊き出しをされていて、会員でないと支援しないということはないと思いますが、任意ではありますが積極的に加入を呼び掛けています。また自治組織への補助金ですが、コロナが始まる前に会員以外の方が来ても何かを提供していきたいという声がありましたので、会員増強のための補助も行っています。

参加者 自治組織は国の中で一番底辺の組織だと思います。今のうちに立て直さないといけないと強く感じています。時間はかかると思いますが、自治組織だけでは難しいので市の支援も必要ではないでしょうか。

市 長 自治組織連合会とも連携して何とかしていきたいと考えています。感染対策もありますが、自治組織の加入率が全体で60%もないくらいに低下していて、コロナ禍の中で地域のつながりが薄れていって将来に影響を及ぼすことが一番心配です。

参加者 富士見台町内会では、会長の任期は2年というのが規則です。他の自治会では長年やってらっしゃる方もいて、ベテランにはなりますが、それはそれで一人に負担が集中してしまい、弊害もあると思います。私自身補助制度などやっと理解して、これから動けるだろうというところで会長の任期が終わります。支援してほしいという話がありましたが、そういったところにも課題があるのではないかと思います。

市 長 前任者の方から引継ぎがされているという前提にはなってきますが、補助制度のことでご不明点があるようでしたら市の方に相談してください。

参加者 去年家族を亡くして、市役所の手続であっちこっち行かされました。一本にまとめることはできませんか。やってみないと分からないかもしれませんが、特に年齢の高い方だと大変だと思います。

市 長 なかなか一本にまとめるのは難しいですが、決まった手続はありますので、やり忘れがないようにご案内することはできるかと思います。他市町村でもワンストップ窓口というやり方をする自治体もありますが、実態がそぐわないなどうまくいかないこともあるようです。負担感がないように工夫していきたいと思います。

#### タウンミーティング後に追加された意見

参加者 富士見台公園の前に住んでいますが、自宅の駐車場前が吹き溜まりになっており、落ち葉が溜まってしまい困っています。毎日何度も清掃していますが、大変です。ことし、サクラとイチョウの木を伐採をしていましたが、ぜひ他の木も纏めて伐採してください。見たところ、高いところまで伸びてる枝があるので切ってほしいと思います。多少

は仕方ないと思いますが、できれば毎年、せめて隔年でも枝の伐採をしてもらえたら助かります。

(担当課) 市内公園の管理につきましては、樹木が伸びすぎて防犯灯を隠してしまった、道路側にはみ出してしまったといった樹木について毎年剪定業務を行っております。また、毎年多くのご要望もいただきますので、順次対応しているところです。そうした中で定期的に樹木剪定を行うよう心掛けてはおりますが、剪定時期が集中する関係上、お待たせしてしまう場合もございます。

ご自宅前が吹き溜まりになっているとのことですので、正確な位置を確認させていただきたいと思います。ご住所やお名前を教えてくださいましたら、状況を確認のうえ、剪定について検討させていただきます。